

令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	畜産技術	単位数	2	学年・学科	3学年・A科(選択)
教科書			副教材	日本削蹄師協会「削蹄テキスト」・荻原勲「ホルスタインの改良」 デーリイマン「ショーリングへの道」			

学習目標	○畜産に必要な知識と技術を習得します。 ○牛の削蹄に必要な知識と技術を習得します。 ○牛の優劣を判断するために必要な知識と技術を習得します。
学習方法	○講義及び実技にて、畜産の知識と技術を習得します。

	評価の観点	評価の観点的趣旨	学期	重み付け	割合	
					審査	審査以外
学 習 評 価	a 関心・意欲・態度	牛の体の構造に関する諸課題について興味・関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	前期中間	25%	10	15
			前期末	25%	10	15
			後期中間	25%	10	15
			後期末	25%	10	15
学 習 評 価	b 思考・判断	牛の体の構造に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	前期中間	25%	15	10
			前期末	25%	15	10
			後期中間	25%	15	10
			後期末	25%	15	10
学 習 評 価	c 技能	畜産に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、畜産に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	前期中間	25%	5	20
			前期末	25%	5	20
			後期中間	25%	5	20
			後期末	25%	5	20
学 習 評 価	d 知識・理解	畜産の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、畜産の意義や役割を理解している。	前期中間	25%	15	10
			前期末	25%	15	10
			後期中間	25%	15	10
			後期末	25%	15	10

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前 期 中 間	1 ウシの蹄の構造	・ウシの蹄の構造を理解します。	○	○		○	a:ウシの体の構造、蹄の構造について興味関心を持ち、積極的に実習に取り組むとともに、その技術を適切に活用している。 b:ウシの体の構造、蹄の構造について諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に表現している。 d:ウシの体の構造、蹄の構造について基本的な事項を身に付け、その特徴を理解している。 a:ウシの捕定について興味関心を持ち、積極的に実習に取り組むとともに、その技術を上達させようとする努力している。 c:ウシの捕定についての事項を理解し、実習では積極的にその技術を活用し、的確に捕定できる。 a:削蹄技術について興味関心を持ち、積極的に実習に取り組むとともに、その技術の習得を身に付けようとしている。 c:削蹄技術について基本的な事項を理解し、積極的に実習に取り組み、その技術を活用している。 d:削蹄技術について基本的な事項を理解し、削蹄がウシの健康に影響することを理解している。	・授業態度 ・授業ノート ・実習記録 ・授業レポート ・定期審査
	2 削蹄用具	・削蹄に必要な器具について理解します。	○		○	○		

前期末	3 削蹄	・ウシの蹄の構造を理解します	○	○	○	<p>a:ウシの体の構造、蹄の構造について興味関心を持ち、積極的に実習に取り組むとともに、その技術を適切に活用している。</p> <p>b:ウシの体の構造、蹄の構造について諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に表現している。</p> <p>d:ウシの体の構造、蹄の構造について基本的な事項を身に付け、その特徴を理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業ノート ・実習記録 ・授業レポート ・定期考査
	4 蹄病	・ウシの捕定について理解します。	○	○	○	<p>a:ウシの捕定について興味関心を持ち、積極的に実習に取り組むとともに、その技術を上達させようと努力している。</p> <p>c:ウシの捕定についての事項を理解し、実習では積極的にその技術を活用し、的確に捕定できる。</p>	
後期中間	5 良いホルスタインの条件 6 条件を成り立たせる要因	<ul style="list-style-type: none"> ・品種と改良について理解します。 ・体型とその要因について理解します。 	○	○	○	<p>a:品種と改良について興味関心を持ち、積極的に実習に取り組むとともに、その知識を活用している。</p> <p>b:品種と改良に関する諸課題の解決に向けて思考を深め、その結果を適切に表現している。</p> <p>c:品種と改良について基本的な事項を理解し、積極的に実習に取り組む体型の特徴を理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業ノート ・実習記録 ・授業レポート ・定期考査
	7 共進会に向けた取り組み	・共進会に参加し、その優劣を判断できるよう審美眼を養います。	○	○	○	<p>a:共進会出品に興味関心を持ち、積極的に実習に取り組むとともに、ウシの優劣を判断し、審査員の評価を理解できる。</p> <p>c:共進会出品に向けた準備等を的確にでき、ウシのリードをすることができる。</p> <p>d:共進会出品に関する基本的な事項を理解し、審査基準についてもよく理解している。</p>	
後期末	7 共進会に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・体型の変わり方を理解します。 ・調教技術を習得します。 	○	○	○	<p>b:体型の変化と産次の関係についてその理解を深め、課題解決に向けて適切に表現している。</p> <p>d:体型の変化について産次との因果関係を理解し、積極的に実習に取り組むとともに、その知識を改善に活用している。</p> <p>a:ウシの調教に興味関心を持ち、積極的に実習に取り組むとともにウシの優劣を判断し、毛刈りや体型調整を理解している。</p> <p>c:ウシの調教に関する基本的な技術を身に付けており、実習ではその技術を適切に活用している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業ノート ・実習記録 ・授業レポート ・定期考査